

新年おめでとうございます

ごかせ

議会です!

第 55 号

令和2年 1月10日発行

目次

- 平成31年度補正予算・・・P2
- 一般質問・・・P4～7
- 議会報告会・・・P8
- 行政視察報告・・・P10
- 特集・・・P12



Gパーク陸上競技場オープニングセレモニー



元気に走るきりん組さん



ホームページはこちら▶



<http://www.town.gok-sei.niigaki.jp/kanku/gikai/index.html>

ポチッ
としてみらんの

スポーツくじ

LOTO

BIG

7 ページに関連記事掲載!

「公立病院の広域医療等に関する特別委員会」を設置しました

西臼杵3町の公立病院のあり方については、現在、延岡西臼杵地域医療構想調整会議内に新たに西臼杵公立病院部会が設置され、医療圏域の現状分析や将来予測・課題抽出など、将来を見据えた病院機能のあり方が協議されています。

本町議会としましては、西臼杵3町の医療体制の確保や、経営状況の分析など重要な問題であると捉え、調査・審議を通して、町に提言することを目的として特別委員会を設置しました。

議長を含む、全議員で活動します。



一般質問

我が町政を問う

6人の議員が8件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。
議員の質問と町長等の答弁を集約した内容は、4ページから8ページです。
全文記録（議事録）は、2月下旬に五ヶ瀬町議会ホームページに掲載します。



秋本良一
○予測される人口減少・移住者定住者の受け入れ促進について



小笠まゆみ
○ふるさと納税について
○OLGBTについて
○職員の採用と人事について



白瀧徹哉
○自然災害への備えは



佐藤成志
○第一次産業プロジェクトチームの立ち上げは



甲斐松男
○町長の行政に対する本気度について



綾 健一
○危険箇所ハザードマップ作成について

令和元年第4回（12月）五ヶ瀬町議会定例会

12月3日から10日までの8日間の日程で開催しました。

・条例の制定及び一部改正 7件

・平成31年度一般会計及び特別会計補正予算 5件

計12議案について、全員賛成で原案のとおり可決されました。

（出席6名、欠席1名、議長は裁決に加わりません。）

一般会計補正予算

4千600万円 追加

総額 **49億9千300万円** に!!

G パーク陸上競技場トラック改修工事

総事業費 2億3千832万561円

・設計委託を職員で行いました！

1,000万円 減額

・残土処理量の増加、縁石の追加！

806万円 増額



追加された陸上競技場の縁石



スキー場で利用されるスノーマシン

スキー場のスノーマシン

・購入をリースに変更しました！

1,089万円 減額

何が変わると？

※【条例の制定 2件】

- ・五ヶ瀬町会計年度任用職員制度の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- ・五ヶ瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

「会計年度任用職員」とは、これまでの役場の臨時職員のことです。

○令和2年4月より、一般職員と同様に、期末手当・通勤手当・時間外手当等が支給されることとなります。

○現在の対象者：46名

○予算見込額：約2,600万円（保育所・学校給食・病院含む）

こもにゃ～のう！
財源が気になるたい！

【条例の一部改正 5件】

- ・五ヶ瀬町個人情報保護条例の一部改正について
- ・五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- ・五ヶ瀬町長等の給与に関する条例及び五ヶ瀬町教育長の給与に関する条例の一部改正について
- ・五ヶ瀬町職員の給与に関する条例等の一部改正について
- ・公の施設に関する条例の一部改正について



あきもと りゅういち
秋本良一議員

人口減少対策と 移住者受入は

町長 安心安全な暮らしを重点施策とする

企画課長 町の人口は2045年に1500人と予測されている。受け入れ戦略が遅れていると思うが、現在の状況と、相談窓口は。

企画課長 過去5年間で8世帯23人が移住。相談窓口は、企画課で対応している。

町長 移住・定住者への支援策は

企画課長 子育て支援・就学支援・高齢者支援・就労支援・住まいの支援等がある。

町長 移住・定住希望者への発信、アピールは

企画課長 ホームページで町の紹介・仕事の状況・支援策を含め強化しているが、改良しつつ充実していく。

町長

今年初めて5世帯の方々と意見を交換した。ポイントとして自然がキーワード、①仕事を含み受け皿地域②儲かる農業等の仕掛け③新たな移住・定住の事業で取り組むことが重要と感じた。



町が行った移住者との意見交換会

町長 住宅建築に町有地・町有林を材料または、財源として活用する考えは。

町長 土地や住宅の斡旋は行政として難しいが、移住・定住のための住宅新築施策、土地等調査結果を次年度以降具現化し検討していく。

町長 新規就農、5年間所得の給付金の給付施策は。

町長 新規就農5年間制度資金の活用。また、町単独の支援もスタートした。

町長 基幹産業である農林業を起業される時は、全庁的に考えていく。

町長 移住・定住支援コーディネーター選任の考えは。

企画課長 現時点ではないが、将来はマンパワーを求める部分も必要。

町長 今後、人口減少にブレーキをかける対策として取り組まれることは。

町長 移住・定住、特にUターンも含めて、担当課だけでなく行政全体で対応し、人口増を使命と思い、支援・対策を打っていく。

新規農業に就く人には、国・県・町からの補助制度があります。詳しくは農林課へお尋ね下さい。



おがさわら ゆみ議員

ふるさと納税に 力を注げ！

町長 制度の趣旨を尊重しながらPRに努め、寄付額をのばしてきている

町長 交付税依存自治体として、ふるさと納税で財源を確保すべきでは？

町長 制度開始時8件376万、返礼品は町の広報誌でスタート。H28年度より2つの※1ポータルサイトを活用。

町長 焼酎・ワインの申し込みが多いが順調に寄付額を伸ばしている。サイトもリニューアルした。

町長 1件あたりの寄付額は県内で一番高い。

町長 宿泊付き航空券・※2クラウドファンディング活用の検討を

町長 特産品のPR、町を知っていただけるツール。訪れて頂けるような仕掛けとして今後取り組む。

町長 町外在住職員へ寄付推進を

町長 強制は出来ないが、毎年お願いしている。年2件ほどの実績

ふるさと納税



ふるさと納税返礼品の一例

LGBTの認知 度は？

町長 全体把握はしていないが研修の必要性は感じている。

町長 性の多様性とも言われるが13人に1人は該当するデータがある。職員の認知度は？

町長 福祉課が保育士にアンケートを行った。6割が知っているという状況。看護師・職員には調査していない。

町長 教育長 教職員全員に周知と理解を図っている。

町長 児童生徒への指導などにおいても、「男女仲良く」を「みんな仲良く」など、性で差別される事の無いような学びを具体的に実施している。

町長 誰一人取り残さない為にも広く周知し、支える人を増やすべき

町長 色んな自治体が研修などを行っている。次年度に向けて検討したい。

職員採用と人事 について

町長 職員の配置は適材適所を心がけている。

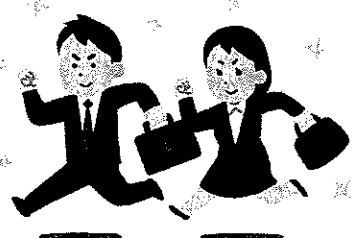
町長 人事採用・異動時、職員の希望を取って欲しい。

町長 また、グループ制の再検証を行って欲しい。

町長 H28年度から人事評価制度を導入。今年度から管理職希望降任制度を制定。

町長 職員のモチベーションを下げない、経験や資格を活かすべき

町長 希望を取る事は検討する。



さとう せいじ
佐藤成志議員

第一次産業プロ ジェクトチーム 立ち上げは

町長 まだ立ち上げ
出来ていない

町長 九月定例会において、チーム立ち上げは農林業振興祭りに立ち上げると発言があったが、進捗状況は。

町長 農林課との業務調整や、アンケート調査結果の分析・目的の整理が遅れ立ち上げてなく反省している。

町長 想定時期より遅れている。アンケート調査の詳細な集計、チームの設置要綱案の作成などを検討していたが立ち上げには至っていない。農林業者との課題整理に向けてのチームと

町長 して今年度中に進めていきたい。

町長 町進んでいない事に失望する。チーム立ち上げは、H30年3月議会での発言。誰がリーダーでどういう体制でやるのかを町長が指示すべきでは？

町長

町長 二期目に入り掲げた構想であるが、担当課との意思疎通が足りなかった。早急に一緒に行程調査をしながら進めていく。

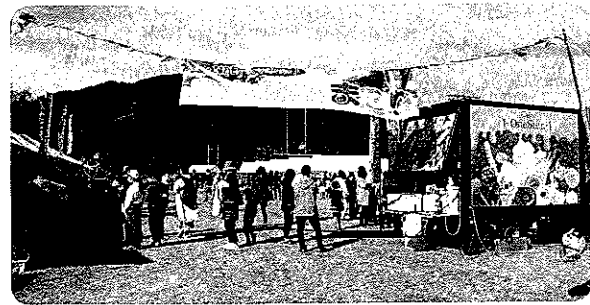
町長 現状維持したい農地を全て耕作するのは難しいが、各地域に入って協議していく考えはあるか？

町長

町長 中山間事業が5期目となるが、説明会を開催予定。先ずは協定内で取り上げ協議したい。

町長 国・県の対策や事業の応援を受けたり、町独自の対策に取り組むべきでは？

町長 農水省が進めているスマート事業は山間地には実態に合わない。耕作放棄地となる土地の借り手、貸し手はどうつなげていくかや農地再編も含めた取り組みをする。担い手の育成に力を注ぎ、その担い手が自立した営農となるためには、どう具現化すべきかなどがチームでの協議につながると考える。



賑わいをみせた農業振興まつり



ポータルサイト

※1 インターネット上にある様々なページの玄関口となるWEBサイトのこと。

クラウドファンディング

※2 インターネットを通して想いに共感した人や活動を応援したいと思った人から資金を募る仕組み。

LGBT

※3 性的少数者の総称の一つ。11ページに詳しく載せています。



しらほし 白瀧徹哉議員

町長 自然災害への備えは

町長 長期避難所開設には不十分と考える
問 ここ数年大雨、巨大台風が各地で頻りに発生している。発生時における本町の対応、消防団減少に伴う分団の再編について町の考えを問う。

町長 非常用備蓄品として、400人分の食糧、水480ℓ、その他必要とされる物品を貴原備蓄品倉庫に保管しているが、長期避難所開設には不十分と考える。避難所開設時は役場職員が各所に2名の交代制で対応。長期化した場合自主防災組織等と連携が必要。

町長 自主防災組織及び、避難所の整備状況は

町長 消防団組織も含めて9行政区、9組織。避難所の整備を自治体が行うとした場合、コミュニティセンター助成事業が集会施設整備事業等を活用することになる。

町長 上組小学校体育館をはじめ全ての避難所トイレのバリアフリー化が必要では

町長 上組小学校体育館の件は、緊急防災事業で対応できれば活用したい。
町長 女性や子供、高齢者へ配慮し対策本部に女性を起用しては

町長 必要性を感じており、前向きに検討していく。
町長 備蓄品の分散化、新庁舎3階への対応は
町長 備蓄食料品も常温である程度保存が可能と考えるが、分散して保管する考えは今のところない。

町長 新庁舎については、突発的なことも念頭に今後検討していく。

町長 防災無線デジタル化に合わせて緊急放送の文字化は

町長 今までの音声情報と併せて携帯電話、タブレット等文字での情報伝達を可能にしていく。

町長 消防団員減少に伴い、夏季点検などの活動に大きな負担が出ているが、消防団の現状、再編についての考えは

町長 定員270人に対し現在、213名。今後地OBとの連携が不可欠。
町長 操法大会、組織再編については団長を中心に協議中。



貴原備蓄品倉庫にある非常用品の一部



夏に行われた消防操法大会の様子



あや けんいち 川井健一議員

町長 危険箇所ハザードマップ作成について

町長 令和2年度に作成し配布する

町長 五ヶ瀬町全域にハザードマップが配布されたが、その内容については十分でない。近年、大きな災害が頻発している中で、ハザードマップの完成が急がれると思うが、その後の経緯は。

町長 平成29年度に、宮崎県と協議し、社会資本整備総合交付金事業を活用して作成した。当時は約9割の基礎調査状況であったが、総務省の勧告で、土砂災害警戒区域の指定がなされた場合、早急に土砂災害ハザードマップを作成し住民へ周知するとあり、急務に作成する必要があると判断し、作成して配布した。

町長 地図には奈良津、舟の谷はあるが、図示がない。
町長 また、鞍岡地域についても鞍岡小学校、鞍岡駐在所、複合型交流施設（旧鞍岡中学校跡地）、古賀・倉本地区、荒谷・渡瀬地区についても地図はあるが、図示がなされていない。

町長 当時の状況ではやむを得なかった。



「五ヶ瀬町防災ハザードマップ」



町長 町次のハザードマップの作成は

町長 基礎調査が全て終了したので、令和2年度に社会資本整備総合交付金事業に申請し、改訂版を作成して全戸に配布する。

町長 多額の金を掛けて未完成の物を配布するのはいかがなものかとの指摘がある。

町長 ハザードマップ作成業務は29年7月27日、30年2月28日に掛けて29年度事業で実施している。予算は4,869,027円。うち半分は国費。

町長 ハザードマップの経緯平成13年4月に土砂災害防止法が施行され、土砂災害の恐れがある区域を明らかにするため、県が基礎調査を開始した。担当課としては、少しでも早い時期に配布した方が良く判断した。

町長 マップの中で、理解しにくい表記がある。個人住宅名を含め、一目で分かるようにしては。

町長 防災ハザードマップは限られたスペースである。名称を入れることは、個人情報との関連もあり不可能だと思われる。



かい まさお 甲斐松男議員

町長 町長の行政に対する本気度は

町長 本気でやっている

町長 様々な意見交換の場で町長は「やらにやいかん」と発言している。来年度予算編成時期であり、町民の期待も大きい。

町長 農林畜産業、商工業の産業振興、町道、林道、農道や集落水道を含めたインフラ整備、観光、福祉、医療介護の充実など町長が掲げた10項目の思いの中から、目玉となる取り組みがあるのか。

町長 本気度と言われると本気度でやっている。急速な少子高齢化、人口減少、基幹産業である農林業の衰退など多くの課題を抱えているが行政運営をやっている。

町長 事業の選択と集中優先順位の格付、限られた財源の重点的、効率的な配分に取り組む覚悟である。

町長 町長の考えは地域の活性化に全力投球することだが、10項目の中で具体的な取り組みは

町長 現在第6次総合計画策定中である。町民アンケートや地域座談会での意見、専門家の意見聴取を行い、課題抽出中。その結果を具現化する。

町長 その地域で暮らしている方に視点を置いて施策を打って行く必要との考えだが、地域産業に力を入れてほしい。

町長 住民の身近な生活環境整備の必要性、五ヶ瀬の自然の魅力や特産品等のトップセールスをやってほしい。町長の考えは。

表紙の紹介

Gパーク陸上競技場は、完成から20年が経過しトラックの劣化が進んだことから、スポーツ振興くじ助成金を受けトラックの全面改修が行われ、この程完成しました。陸上競技場は利用者の身体への負担を和らげる構造になっており夏場の実業団、学生の合宿の増に、期待が寄せられます。市町村対抗駅伝の選手からは「滑りにくく走りやすい!」「足への負担も感じない!」との声をいただきましたよ。



選手団を激励してきました



路面の荒れた町道

町長 基幹産業、農林畜産業等みんな知恵を出し第一次産業プロジェクト立ち上げを第一義にやりたい。町道の整備については、地元の方々には話をする機会が必要だと考える。予算編成で今年は一応レベル、町長枠的なものは持っておこうという気もしている。観光分野は積極的に営業をしているつもりだ。
町長 新庁舎建設と並行して住民サービスを必ず進めていきたい。原田カラーを全面的に出していきたい。

意見交換会を行う！ 宮崎大学地域資源創生学部1年生

去る12月13日議場において、宮崎大学地域資源創生学部1年生24名と議員7名は、五ヶ瀬町における産業・雇用や観光、医療・福祉や若者などについて意見交換を行いました。

耕作放棄地の現状と活用法、現在行っている雇用対策や魅力的な町づくり、企業誘致とインバウンド集客のPRなど、町を外からの目線で幅広く見渡し、様々な意見をいただきました。

学生からたくさんの感想をいただきましたので、一部を掲載します。



※「宮崎大学地域資源創生学部」ってどんな勉強をするの？

“地域資源を複眼的に理解・活用し、ビジネス等に結びつけられるよう、〇企画・実践能力ができる力 〇異分野（農学・工学・人文社会学）の知識 〇専門性の高いマネジメントの知識 〇英語による交渉（ビジネス英語）ができる力を教授し①地域産業創出コース ②地域創造コース ③企業マネジメントコース の3つのコースで、地域を創生できる将来のリーダー人材を輩出します。”（宮崎大学ホームページより）

●あなたの年代は？（○をつけてください）

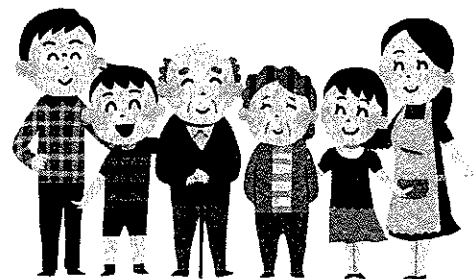
10代 ・ 20～30代 ・ 40～50代 ・ 60代以上

●「議会だより」に対するご意見ご感想

●町や議会に対するご意見

ありがとうございました

点線で切り取るか、コピーしてご利用ください。



みなさまの声を
お聞かせください！！

（例）

○こういう特集を組んで！

○ここが読みにくい！

○議員と意見交換会をしたい！

内容は何でもかまいません。

はがきを切り取るかコピーをして、
議会までお寄せください。

（※大変恐れ入りますが、切手をお貼りになるか、
議会事務局までご提出ください。）

◎ご意見は次号でご紹介させていただく
場合もございますので、ご了承ください。

◎氏名等は公表いたしません。情報は議会
だより以外には使用しません。

議会報告会を開催しました

10月21日から25日までの間に、令和元年第6回議会報告会を開催しました。

町内4会場、54名の町民が参加、多くの意見をいただきましたので、主なものを掲載致します。

今回は、プロジェクターによる資料説明をし、車座で意見交換を行いました。

なお、すべての意見を記載した報告書を町長に手渡し、協議・対応をお願いしました。

また、議会としてはこれらの意見をもとに、一般質問、執行部（町長をはじめとする行政の幹部）

との意見交換などを行います。

○公共交通

- ・免許証返納時のタクシー券は見直して欲しい。
- ・コミュニティバスの停留所の設置と、位置を変えて欲しい。

○防災

- ・防災無線のデジタル化はできないのか。
- ・川の砂利が堆積して、災害を招いているので対策を。
- ・ハザードマップの完成版はいつ頃配布になるのか。
- ・災害通信が携帯に入るようにしてもらいたい。

○新庁舎建設

- ・新庁舎のエレベーター等、安全対策は充分か。
- ・厳しい財政の中、新庁舎建設に不安がある

○人口減少対策、移住・定住

- ・婚活の推進、若者の出会いのきっかけを作って欲しい。
- ・人口減少は仕方ないが、進行にブレーキを。Uターン等移住者増の取り組みを。
- ・今後人口減少が続けば、西臼杵3町合併になるのではないかと不安がある。

○農林業

- ・獣害防止電気柵の消耗品についても、補助の対象としてもらいたい。
- ・獣害捕獲監視員は現在1名である。せめて、大字毎の設置をお願いしたい。
- ・第一次産業の振興に陰りがある。次世代を担う若者達によるアグリファームの計画はないのか。
- ・農道の老朽化に伴い、路面が荒れている。農道整備の予算を確保して欲しい。
- ・後継者不足、作り手・受け手を育てて欲しい。

○観光振興、第3セクター

- ・スキー場は町のシンボル。機会を設けて経営状況を分かりやすく説明してもらいたい。
- ・スキー場の夏場の利用、観光地としての取り組みの充実を。
- ・国有地の買い上げはできないのか。

○医療

- ・町立病院の患者数が少ない。現状を確認し、対策を取ってもらいたい。
- ・薬局の対応が遅すぎて、帰りのバスの時間に間に合わない。
- ・訪問介護の充実をお願いしたい。

○生活環境

- ・ゴミ袋の価格が高い。山都町は200円。汲み取り料も高いので安くならないか。
- ・燃えるゴミ、生ごみを少なくする対策が大事ではないか。

○道路

- ・町道の一部がコンクリート舗装で、凍結しても融雪剤が撒けない、アスファルト舗装に改良を。
- ・関東地方の災害に国の予算が取られ、中央自動車道の建設が遅れるのではないか。

○その他

- ・ふるさと納税の充実を図っていただきたい。
- ・外国人雇用の考えはあるのか。
- ・座談会や報告会等の参加者が少ない。対策を取るべきではないか。



皆様の声を町長へ渡しました」

ところで、LGBT ってなんなの？

「LGBT(エル・シー・ビー・ティー)」は性的少数者の総称の一つとして使われている言葉です。

- L** レズビアン / 性自認が女性で恋愛対象が女性の人
- G** ゲイ / 性自認が男性で恋愛対象が男性の人
- B** バイセクシャル / 男性も女性も好きな人
- T** トランスジェンダー / 生まれたときに割り当てられた性別とは異なる性を生きたい・生きる人

LGBTだけが性的少数者ではありません。性のあり方は非常に多様で、国際的には「SOGI(ソジ)」という言葉が使われるようになりました。

Sexual Orientation / 性的指向 だれを好きになるのか、だれに魅力を感じるのか

Gender Identity / 性自認 自分自身の性別をどう感じるのか

私たちは「男性」「女性」どちらか一方のくくりで当然のように生活している人が殆どではないでしょうか？
実は、人口の7.6%、13人に1人は、性的少数者として自分の性に違和感を持っている人がいる、というデータがあります。

性的少数者を積極的に探しましょう！というお話ではありません。

自分がそうだという方、自分はそうなんじゃないかと悩んでいる方は、それがおかしいことではないと気付いて欲しいです。

また、身近な人からカミングアウトされたとき、心無い言葉をかけたりアウティングして傷付けることがないよう、心がけたいですね。

性的少数者を支えますよ！理解していますよ！という方をALL Y(アライ)と言います。

性的少数者についての正しい知識を持ち、理解し、支援をする人のことで、自称で構わないそうです。

五ヶ瀬町に一人でも多くのアライが誕生しますように！

私たちは、ひとりの人間として生き、互いに思いやりを持つことが大切です。

※カミングアウト / ここでの意味は、自分が性的少数者であることを打ち明けること。

※アウティング / 本人の許可なく性的少数者であることを他人に話してしまうこと。重大な人権侵害です。

支援団体もありますよ！

○宮崎県男女共同参画センター電話：0985-32-7591

宮崎県男女共同参画センター

○LGBTB交流会「レインボービュー宮崎」

レインボービュー宮崎



謹んでご冥福をお祈りします

去る12月23日 甲斐啓裕議員(62歳)がご逝去されました。
平成9年より当選6回、22年5ヶ月の間に、議長・副議長を始め全ての委員長を歴任されました。
豊富な経験と知識で山積する課題に敢然と立ち向かい、町政の刷新と町民生活の向上のために一身を捧げて来られました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

行政視察報告

今年7月に宮城県南三陸町議会、10月には日南市議会へ「五ヶ瀬町議会BCP計画(仮称)」策定に向けた研修を行った。

自然災害が多発する今日、発災時に議員はどういった行動をとるべきか、議会の在り方はどうあるべきか等の取り決めるを行うもので、議会業務の円滑な推進を図るための取り組みである。

議員に事故ある時、定員を割るような事態になると選挙を行わなければならない。

被害が大きければ選挙どころではない状況も考えられる。であるからこそ、共通認識をもつ為の策定である。

《事例》

- ・発災で議員が亡くなった
 - ・議決権の行使が不可能となり専決処分が乱発された
 - ・現場対応に追われる職員が議員への説明に時間を割かれ、復興以前の住民救済対応に影響を及ぼした可能性があった等々
- どのような事態でも、冷静に、かつ円滑に対応でき、住民福祉を第一とした議会の対応が出来るように策定に臨むものである。



宮城県南三陸町議会



日南市議会

BCP(Business Continuity Plan)とは？
災害時における「業務継続計画」のこと

東日本大震災や熊本地震など、これまで大規模な地震災害に見舞われた際に、住民の生命・身体及び財産を守る役割を果たす自治体が、その機能を失うという危機的な状況に陥った。

このような中、災害時において専決処分が多く行われるなど、二代表制の一翼である議会の基本的な機能が果たせなかった経緯と教訓から、議会独自の業務継続計画策定の必要性がクローズアップされてきたところである。

このことから五ヶ瀬町議会では、町内で大規模災害が発生した時や発生する恐れがあるとき、五ヶ瀬町災害対策本部と連携し、被害の拡大防止及び議会機能の早期回復を図ることを目的として、必要な組織体制や、議員の行動基準などを定めた、五ヶ瀬町議会業務継続計画を策定することとしているものである。



郵便はがき

882-1295

恐れいますが、
御自分の切手をお
貼りいただくか
議会事務局まで
ご提出ください。

五ヶ瀬町大字三ヶ所 1670

五ヶ瀬町議会事務局 行き

氏名(掲載しません)

ペンネームなど

特集 今どきの若いモン

祝第61回宮崎県畜産共進会1等

二区中村地区で畜産を営む飯干さんご夫婦

飯干顕臣（あきおみ）さん昭和55年生まれ（38歳）

飯干知美（ともみ）さん昭和54年生まれ（39歳）高鍋町出身

2女1男のパパとママ

お二人が知り合ったきっかけは、リース会社のキング。

会社の慰安旅行で始めてお会いされたそうです

嫁いで2年ほどは、「買い物含め、不便だな」と思いましたが、それ以降は、慣れたせいか、住みやすい所と感じます」と笑顔で知美さん。

就農する時、父ちゃん（故保廣さん）が「牛はやめようだ...」と言われたそうですが、「んにゃ、そりゃいかん!」と、牛に力を入れる事を決心! クラスター事業を活用し、子牛も導入。

郡の品評会でチャンピオンを受賞したり、宮崎県の畜産共進会に出場するなど、大活躍中です。

共進会に出場した感想は、「出場までが大変だったが、JA担当や、五ヶ瀬町畜産青年部のメンバーが力強い協力をしてくれたので、きついとは思わなかった」との事。

これから先、ずっと体が動く限り、牛を養う! という姿に頼もしさを感じました。



顕臣さん・知美さん

..... 地域 の 話 題

売れてます!! 地域の皆さんのおかげです!!

今回は「特産センターごかせ」に伺いました! 町一番の直売所には、所せましと新鮮な秋・冬野菜が並んでいます。

真っ白な大根、はち切れそうなキャベツ、丸々とした白菜、鍋にしたいふっくらシイタケ、ころころ里芋、どれもこれも素晴らしい。

平成25年から直売を開始したところ、野菜部門の売り上げが大きく伸びてきています。

野菜等の出荷者は、現在300人ほどになっています。

最近では、熊本方面、延岡市、宮崎市方面からのお客さんも増えてきているという事です。これからも、地域で頑張る出荷者の皆さん、よろしくお願いします。



編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は、平成から令和の時代へと変わり、大きな節目の年となりました。

新年号より紙面をリニューアルしました。「町民のインタビュー」の連載や「皆様の声（ハガキ）」をつけておりますので、ご意見をお待ちしております。

本年も町民の皆様と共に地域の活性化に取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

発行責任者

議長 甲斐 政國

議会広報編集委員会

委員長 綾 健一

副委員長 白瀧 徹哉

委員 小笠 まゆみ

委員 甲斐 松男

